

御前における歩み

10
(日)

私の口が語ることと心の思いとが

御前で喜ばれますように。

主よ、わが大岩、わが贖い主よ。(15)

5/

神の創造のみわざをたたえる中で、詩人の心に一つの切なる祈りが生まれました。それが今日の聖句です。人からどう評価されるかが問題ではなく、創造者である神の御前で正しく生きることが彼にとっての第一の課題となつたのです。それは口から出る言葉だけでなく、心の中を探られても汚れが見つからないところの清さを得ることが出来るようにという祈りでした。心にどす黒いものを抱えながら、口先は美辞麗句を並べるような世にあって、言葉だけでなく心も、人前だけでなく神の御前でも、と詩人は願います。神を信じる者たちは、このように裏表のない歩みを追い求める者たちだからです。今日から始まる一週間、この祈りを私たちの祈りとして主にささげようではありませんか。私の口から出る言葉が、私の心に浮かぶ様々な思いが、神にも人にも喜ばれるものとなりますように。